

**各分野共通** (完了会計報告書とは別にご提出いただくものです)

平成27年度 年賀寄附金配分事業成果報告・自己評価書

この自己評価書は、事業を振り返り、活動等をより良いものとしていくために作成いただくものです。今後の配分には影響しませんので、課題等についても積極的にご記入ください。  
 また、設問にはできる範囲でお答えください。ご記載いただいた内容について、事務局よりお問い合わせさせていただくことがありますので、予めご了承ください。  
 ※ 自己評価書の内容は、全部又は一部を公表することがあります。予めご承知おきください。

(以下該当する□を■としてください。)

整理番号	70184	評価書作成日	平成28年4月 11日
団体種別	<input type="checkbox"/> 1 社会福祉法人 <input type="checkbox"/> 2 更生保護法人 <input type="checkbox"/> 3 公益社団法人 <input type="checkbox"/> 4 公益財団法人 <input checked="" type="checkbox"/> 5 特定非営利活動法人(NPO法人) <input type="checkbox"/> 6 一般社団法人 <input type="checkbox"/> 7 一般財団法人 <input type="checkbox"/> 8 その他( )		
団体名称	特定非営利活動法人 ぶうしすてむ		
評価書作成者	二神重則	役職	理事
作成者連絡先	TEL:事務所 089-923-5002 携帯 090-2783-1749 FAX:089-923-5020 Email: futgami@busystem.jp		

助成分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1 活動・一般 <input type="checkbox"/> 2 活動・チャレンジ <input type="checkbox"/> 3 施設改修 <input type="checkbox"/> 4 機器購入 <input type="checkbox"/> 5 車両購入 <input type="checkbox"/> 6 東日本大震災の被災者救助・予防(復興)			
実施事業名(申請書記載の事業名を転記してください):				
障がい者とひきこもり者対象のパソコン講習会を通じた就労支援事業				
事業費	区分	配分金額(a)	自己負担額(b)	事業費総額(a+b)
	完了時	1,500,000円	107,913円	1,603,187円

添付資料、ホームページ掲載:

添付資料リスト:(※完了会計報告書に添付したものは、今回、添付する必要はございません)  
 (助成による実施事業報告書・冊子等の成果物、案内用チラシ、メディアによる紹介等の資料があれば資料名を記載し、添付してください。添付資料名を助成の成果物として年賀寄附金事務局でWEB掲載したり、刊行物に転載する等、ご紹介する場合がございます。予めご承知おきください。)

1. 西予市就労向けセミナーの開催。http://blog.canpan.info/manufacture/archive/616
2. 久万高原町パソコン講習説明会 http://blog.canpan.info/manufacture/archive/619
3. 西予市のパソコン講習会最終日 http://blog.canpan.info/manufacture/archive/627
4. 働くセミナー http://blog.canpan.info/manufacture/archive/635
5. 働くセミナー 最終回 http://blog.canpan.info/manufacture/archive/638

実施事業に関してホームページ等に掲載した場合は、そのURLをご記載ください:  
 (年賀寄附金事務局でURLをWEB掲載したり、刊行物に記載したりすることがございます。あらかじめご了承ください。)

URL: http:// [www.busystem.jp/busystem.html#bu5](http://www.busystem.jp/busystem.html#bu5)  
 歴史と活動ページ2016年・2015年研修時の写真を掲載しています。

**【実施事業内容】**

質問1 今回の事業で具体的に何を実施したかについてご記載ください。特に事業の社会的意義について特筆すべきものがあれば、併せてご記載ください。また、施設改修・機器購入・車両購入の場合、改修・購入により何が改善されたかについてもご記載ください。

**事業の目的**

愛媛県内の過疎地域3カ所で障がい者とひきこもり者対象のパソコン講習会を開催し、講習を通じて技術習得と共に講習会の助手や講師を養成する。受講生に助手や講師の仕事を任すことにより参加意識や責任感を期待し、モチベーションアップに繋がり5名の就業や育成を図りたい。

講習会の開催 集団のパソコン講習会を開催した。

愛媛県北宇和郡鬼北町 ひだまり工房  
愛媛県西予市 ネットWork ジョイ事務所  
愛媛県久万高原町 町役場会議室

「働く」セミナーの開催 久万高原町・道後身体障害者福祉センター

働くとは、生活するのに必要なこと・心構え・お金について等の研修と当事者・関係者・支援者などの話し合いの場

**【実施事業の成果】**

質問2 申請時に記入していただいた「達成したい具体的成果目標」がどれだけ実現できたかを記入してください(申請書等を参照。出来る限り数値などを用いつつ、客観的・具体的に表現すること。参加者・利用者等(※)の規模もご記入ください。)。また、今回の配分事業の今後の展開予定等があれば、それについても併せて成果にご記載ください。

申請書に挙げた具体的成果目標	実施による成果															
<p>パソコン講習会 協力団体との募集方法や開催場所、時間などの検討。 開催場所として宇和島市・広見町・西予市等を予定。</p> <p>1カ所で月2回の開催。 30回程度の講習会を開催する。</p>	<p>パソコン講習会 開催場所 宇和島市から山間過疎地の久万高原町に変更した。 広見町(北宇和郡鬼北町)は、実施協力団体の都合により計画の半分で終了になった。 松山市で引きこもりの支援をしている「心のつばさ」を会場に追加した。 受講者は殆ど今回募集の参加者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>回数</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北宇和郡鬼北町</td> <td>4回開催</td> <td>平均7名</td> </tr> <tr> <td>西予市</td> <td>4回開催</td> <td>平均10名</td> </tr> <tr> <td>久万高原町</td> <td>6回開催</td> <td>平均10名</td> </tr> <tr> <td>「心のつばさ」</td> <td>4回開催</td> <td>平均5名</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上18回の集団による講習会を開催した。</p>	場所	回数	受講者数	北宇和郡鬼北町	4回開催	平均7名	西予市	4回開催	平均10名	久万高原町	6回開催	平均10名	「心のつばさ」	4回開催	平均5名
場所	回数	受講者数														
北宇和郡鬼北町	4回開催	平均7名														
西予市	4回開催	平均10名														
久万高原町	6回開催	平均10名														
「心のつばさ」	4回開催	平均5名														
<p>会社勤めをするための基本的な研修、プレゼン等のセミナーを開催する。</p>	<p>「働くセミナー」の開催 参加者、当事者・家族・支援者 働くに必要なこと・心構え・お金について等の研修と参加者の話し合いの場を持った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西予市</td> <td>2回</td> <td>関係者合わせて30名弱</td> </tr> <tr> <td>久万高原町</td> <td>1回</td> <td>保護者合わせて30名</td> </tr> <tr> <td>松山市</td> <td>1回</td> <td>関係者合わせて60名</td> </tr> </tbody> </table>		回数	参加者	西予市	2回	関係者合わせて30名弱	久万高原町	1回	保護者合わせて30名	松山市	1回	関係者合わせて60名			
	回数	参加者														
西予市	2回	関係者合わせて30名弱														
久万高原町	1回	保護者合わせて30名														
松山市	1回	関係者合わせて60名														

【スケジュール管理・計画性】									
質問3 当初の計画時のスケジュールなどから変更した点についてご記載ください(変更があった場合には変更理由を記載)。その他計画を具体化するに当たって工夫した点などがあれば、併せてご記載ください。									
スケジュールの変更点									
実施計画時のスケジュール	実際のスケジュール・変更理由								
<p>4～5月 協力団体との募集方法や開催場所、時間などの検討。 開催場所として宇和島市・広見町・西予市等を予定しています。</p> <p>5～6月 受講生の募集、面談。</p>	<p>4～5月 県下各地の支援団体を訪問し情報を集めた。 開催場所として計画していた宇和島市を山間過疎地の久万高原町に変更した。 広見町(北宇和郡鬼北町)は、実施協力団体の都合により計画の半分で終了。松山市で引きこもり支援の「心のつばさ」を追加。</p> <p>5～6月 募集を兼ねた事業説明会を実施した。</p>								
<p>8～2月 講習会 1か所で月2回の開催。セミナーと合わせて30回を開催する。 講習内容はオフィスの初心者程度</p>	<p>講習会 全18回の開催</p> <table border="0"> <tr> <td>6月広見町(北宇和郡鬼北町)</td> <td>4回開催</td> </tr> <tr> <td>7月松山市心のつばさ</td> <td>4回開催</td> </tr> <tr> <td>9月～西予市</td> <td>4回開催</td> </tr> <tr> <td>10月～久万高原町</td> <td>6回開催</td> </tr> </table>	6月広見町(北宇和郡鬼北町)	4回開催	7月松山市心のつばさ	4回開催	9月～西予市	4回開催	10月～久万高原町	6回開催
6月広見町(北宇和郡鬼北町)	4回開催								
7月松山市心のつばさ	4回開催								
9月～西予市	4回開催								
10月～久万高原町	6回開催								
<p>1～2月 モチベーションとか会社勤めをするための基本的な研修、プレゼン等のセミナーを開催する。</p>	<p>働くセミナー 全4回の開催</p> <table border="0"> <tr> <td>西予市</td> <td>8月、2月開催</td> </tr> <tr> <td>松山市</td> <td>2月開催</td> </tr> </table> <p>県内関係者に案内を送付し開催した。</p>	西予市	8月、2月開催	松山市	2月開催				
西予市	8月、2月開催								
松山市	2月開催								
計画を具体化するに当たって工夫した点									
<p>過疎地域での障害者向け研修のため参加者の募集方法に工夫が必要だった。支援団体や相談員、地域の協力があり実現できた。</p> <p>発達障害や引きこもりなど、社会生活になじめない人の受講希望が多くなっている。基礎的な初心者コースを別メニューとして開催し参加しやすいカリキュラムを計画して参加を促した。</p> <p>働くセミナーでは、当事者だけでなく家族や支援者も含めたこれからの事を考えるセミナーにしました。生活するのにいくら掛かるか?どのような支援があるか?など具体的な課題を話し合える場にしました。</p>									

【自己評価・改善すべき点】				
質問4 今回の事業の成果や進め方を総合的に見て、100点満点(0点～100点)で自己評価し、「計画・想定通りに実現できた事項」、「計画・想定以上に実現できた事項」、「計画・想定通りには実現できなかった事項及びその原因、並びに改善の対策」についてご記載ください。				
<table border="1"> <tr> <td>評点</td> <td>80</td> <td>点</td> </tr> </table>	評点	80	点	<p>※成果目標における数値目標の達成度にこだわらずに、配分事業全体の完成度で自己採点してください。</p>
評点	80	点		

<p>計画・想定通りに実現できた事項</p> <p>講習会の開催場所と講習内容          予定通り講習会とセミナーで当初の計画通りに終了しました。</p> <p>働くセミナーの開催          予定通りでした。</p> <p>育成した人材          受講者2名はB型事業所で対面販売ができるようになりました。          引きこもりの受講者2名は講習会に毎回出てくれるようになりました。</p>
<p>計画・想定以上に実現できた事項</p> <p>働くセミナーの実施において          当初働くための支援についてのセミナーを予定し小規模な開催を2回しました。          終了後就労だけでなく生活の為の情報も含めたセミナー開催の必要を感じ、最終回は当事者や関係者を交えた話し合いの場により身近な話し合いになりました。</p>
<p>計画・想定通りには実現できなかった事項及びその原因、並びに改善の対策</p> <p>計画した開催場所の変更          開催予定先の都合で2シリーズ10回開催予定でしたが最初の4回で中止になった。          予定先事業所の事業計画が大幅に変更になり、人事面での対応ができなくなったため。</p> <p>育成講師や人材について          今回のシリーズで受講生からアシスタントや講師への育成を新しく2名計画していましたが、受講生のスキルなど難しい所があり育成できませんでした。</p>

<p>【事業を行うに当たっての収入の有無】</p>
<p>ありません。</p>

<p>(以下、ご参考までにお聞かせください。)</p> <p>【意図しなかった成果】</p> <p>質問6 事業を行った結果を踏まえ、当初は意図していなかった実績・成果や社会的な影響・意義などがありましたらご記載ください。</p> <p>当初は就職活動のスキルとしてパソコン技術習得を目指した研修の開催を計画しました。最近の状況とし、引きこもりや自分に自信の持てない人たちの支援が多くなっています。今回の研修においても同様で、受講者が毎週時間通りに講習会に参加する、何かができるようになる。継続することにより自信に結びついたり就労に結びついたりしました。          行く所がある。することがある。仲間がいるは人として何か必要な事柄ではないか、また就労への支援として一つの有効な手段になるのではないかと思います。</p>
---

【参加者など外部からの評価】

質問7 参加者・受益者のアンケートや関係者などのコメントがあれば、出来る限り先方の記述・提供のままの原文でご紹介ください。

パソコン講習会の最終日アンケート

受講生の声

- ・もっと習いたかった。 ・たのしかった。 ・また、やってほしい。
- ・自分がここまで 出来るとはおもってなかった。

支援者の声

- ・みんなが「楽しみ」にしている様子がわかりました。 ・継続はできないのでしょうか。
- ・継続して個別に来て指導して下さい。 ・休まないで参加してくれるとは思ってなかった。
- ・嬉しい思いと さみしさと 感謝でいっぱいです

・このPC教室がその方の社会に繋がる一つの道だったのだなと思ったり

PC学習だけでなく、それぞれの方が自分の足で立ち、歩むトレーニングの場でもあったと改めて振り返りっております

- ・大変嬉しく感謝の思いでいっぱいです
- ・今後も別の形でつながることができるにちがいない、と心強く考えております。
- ・受講生から講師・サポーターへと育って行かれた方、顔を見るたびにPC教室は無いのですかと問われ、今回の受講から検定受験にまで至った方、見学させていただき、こんな暖かい指導は自分にはできないと驚きながら帰った方がいました。

就労セミナーでのアンケート

当事者

・当事者が困っていることを発信することにより周囲に理解者や支援してくれる人が出来ると思う。

- ・いろんな話がきけてよかった。現状を知れてよかった。
- ・悩みをきくことで自分が体験したことと重ね合わせる事が出来た。
- ・自己決定の大切さを学びました。
- ・気持ちも楽になりましたありがとうございました。
- ・世間の理解はうすい。
- ・今が精一杯で 将来の事まで考える余裕がない。
- ・結婚したいなあと思いました。 ・お金を大事に使う、参加してよかった
- ・皆 同じような悩みがあるんだ ・もっと 時間をとって詳しく聞きたかった

家族

- ・当事者の話が聞けてよかった ・支援・自立について考えさせられました。
- ・再度 開催してほしい

支援者

- ・支援者としての考えが足りてなかったと強く感じました。
- ・一人一人の可能性を伸ばせる支援者になりたい。
- ・考えて “試行錯誤” をしなければ・・・。ドキッとすることばかりでした。
- ・当事者同士で話し合う場の大切さを感じました。
- ・当事者の話をきけてよかった ・理解しやすいセミナーでした。

【その他】

質問8 他団体の参考となることや、社会的意義のある取組みについてお気づきのことがあればご記載ください。また、その他ご意見・ご要望等などもご記載ください。

10年余り障がい者のパソコン講習会を行ってまいりました。当初はあまり学ぶ場のなかった就労意欲の強い身体障害者が中心でした。5年位前から発達障害や精神障害の方の受講が増えてきました。本人の希望というよりも支援者や相談員からの要請が強いと思われました。障がい者の労働環境が大きく変わってきている感があります。

産業界には時を同じにして精神障害者への雇用の促進が言われていますが、進んでいません。また、引きこもりも増えています。

今までのような職業訓練から技能習得そして就労という道筋から、コミュニケーション・喜び・生きがいのような今までと違ったアプローチによる支援や就労が必要になってきているのかとの感想を持っています。

今回の研修だけでなく、講習会の受講生が私どもの手伝いをしてもらう事により参加に対する意欲が増してゆき、人と接することにより得るものが有るのか、頼りにされることによるやる気が出るのか、専門家でない身には分かりかねますが確かにその方のモチベーションは上がります。

受講者の二人はその後福祉的就労現場で販売業務をしています。お客さんの希望のものを作ったり商品の選択の相談も出来るようになっていきます。また引きこもり支援の二人は欠席や遅刻もなく講習を続けています。

質問 8 (活動・一般、活動・チャレンジ、東日本大震災の被災者救助・予防(復興)の場合記入してください) 活動事業費の内訳		
費目	金額	内訳
謝金	112,000円	5回のセミナーや講習を開催しました。 @¥20,000の謝金4回、@¥15,000の謝金1回 講習会助手謝礼として1日1,000円を払いました。17回分
旅費交通費	257,992円	事業所や講習会場所への交通費として 公共交通機関は実費、自家用車利用の場合は@¥35/km を支払いました。
会議費	円	
会場借料	円	
借料損料	383,000円	講師用や受講者用のノートパソコンやプロジェクターを 参加人数などに合わせてレンタルしました。 セミナーではスピーカーやマイクビデオ撮影などの機材を レンタルしました。
印刷製本費	84,800円	講習会のテキストを作成印刷して使用しました。
通信運搬費	6,460円	受講生の募集チラシなどの発送 セミナー開催の案内を発送しました。
広告宣伝費	36,000円	講習会やセミナー開催のポスターを作成し広報に利用しま した。
消耗品費	1,435円	
什器備品費	円	
賃金	721,500円	時給700円、1日5時間として、 統括・助手・講師などの人件費としました。
雑役務費	円	
委託費	円	
その他	円	
合計	事業費総額：1,603,187円	